2011 年 10 月 13 日

各位

Medicinova, Inc.
代表取締役社長兼 CEO
岩城　裕一
（コード番号:　4875　大証 JASDAQ）
問合わせ先:　東京事務所代表　副社長
岡島　正恒
電話番号:　03-3519-5010
E-mail:　info@medicinova.com

第三者割当による新株式発行の払込完了に関するお知らせ

2011 年 10 月 12 日　米国　サンディエゴ発 - メディシノバ（MediciNova, Inc.）（米国カリフォルニア州　サンディエゴ、代表取締役社長兼 CEO: 岩城裕一）は、2011 年 9 月 12 日（米国太平洋夏時間）開催の取締役会決議に基づいて、2011 年 9 月 27 日（日本時間）に新株引受契約書を締結いたしました第三者割当による新株式発行に関し、本日払込手続きが完了いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1.　募集株式の発行の概要

(1)	発行新株式数	普通株式	800,000 株
		優先株式	220,000 株
(2)	払込金額	普通株式	1 株　2.5 米ドル
		優先株式	1 株　25 米ドル
(3)	払込金額の総額	普通株式分	2,000,000 米ドル
		優先株式分	5,500,000 米ドル
(4)	増加する資本金及び資本準備金の額		
		普通株式分	800 米ドル(1 株当たり 0.001 米ドル)
		優先株式分	2,200 米ドル（1 株当たり、0.01 米ドル)
(5)	募集方法	第三者割当 (割当先)キッセイ薬品工業株式会社	
(6)	申込期日	2011 年 10 月 13 日	
(7)	払込期日	2011 年 10 月 13 日	

2.　今回の第三者割当増資による発行済株式総数（議決権ベース）及び資本金の額の推移

(1)	増資前の発行済株式総数	15,285,706 株	（資本金　15,327.6 米ドル）
(2)	増資による増加株式数	800,000 株	（増加する資本金　800 米ドル）
(3)	増資後の発行済株式総数	16,085,706 株	（資本金　16,127.6 米ドル）
(4)	優先株式転換による増加株式数	2,200,000 株	（増加する資本金　2,200 米ドル）
(5)	優先株式転換後の発行済株式総数	18,285,706 株	（資本金 18,327.6 米ドル）

以上

メディシノバについて

メディシノバ（Medicinova, Inc.）は、日本内外の国際的製薬企業との提携により有望な低分子化合物を導入し、様々な疾患領域の新規医薬品の開発を主として米国で行う公開製薬企業です。当社のパイプラインには、喘息急性発作、COPD（慢性閉塞性肺疾患）、多発性硬化症を始めとする神経疾患、神経因性疼痛、薬物依存、喘息、間質性膀胱炎、固形癌、全般性不安障害、切迫早産、尿失禁など、多様な疾患の治療を目的とする 6 つの臨床段階の化合物と、血栓症治療を目的とする 2 つの前臨床段階の化合物が揃っております。当社は、当面その戦略として、喘息急性発作及び COPD の治療薬 MN-221 と多発性硬化症及びその他の中枢神経系疾患治療薬 MN-166/AV411 との 2 つの優先的開発化合物に資源を集中して開発を進めていく予定です。MN-221 については、米国内で独自に開発を行い、一方 MN-166/AV411 については、開発に際して、戦略的な提携関係を構築することを考えております。また、他の製品候補につきましても、現金化を試みて参ります。当社詳細につきましては http://www.medicinova.jp をご覧下さい。当社の所在地はアメリカ合衆国カリフォルニア州サンディエゴ市ラ・ホイヤ・ヴィレッジ・ドライブ 4350、スイート 950（電話 1-858-373-1500）です。

このプレスリリースには、1995 年米国民事証券訴訟改革法（The Private Securities Litigation Reform Act of 1995）に規定される意味での「将来の見通しに関する記述」が含まれている可能性があります。これらの記述には、製品候補の治療法としての新規性及び効能を実証する臨床試験に関する記述、既存または将来の臨床試験の計画や目的及び製品開発に関する計画または目的に関する記述などが含まれます。このような記述には、臨床試験の結果、現段階の臨床試験の結果が必ずしもその後の製品開発の行方を確定するものではないこと、将来の臨床試験のタイミング、費用、計画など、臨床試験、製品開発及び商品化に付随するリスクや不確定要素、FDA に対して書類を提出するタイミング、当社の戦略の失敗、第三者との提携構築、資金調達の可能性、知的財産権や契約上の権利を始めとして、当社が米国証券取引委員会に提出した届出書に記載されているものも含めたその他のリスクや不確定要素など、その多くは当社のコントロールが及ばないいくつもの前提、リスク、不確定要素の影響を受けるものであります。したがって、「将来の見通しに関する記述」はその時点における当社の状況を述べているにとどまり、実際の結果または成り行きは、必ずしも予想通りにはならない可能性があることにご留意下さい。また当社には、この記述に関して、情報の修正または更新を行う義務はありません。